

会社名 株式会社トレジャー・ファクトリー  
代表者名 代表取締役社長 野坂 英吾  
(コード番号：3093 東証プライム)  
問合せ先 取締役経営企画室長 小林 英治  
(TEL. 03-3880-8822)

## 2024年2月期 第3四半期決算 質疑応答集 (2023/2/2更新)

この質疑応答集は、2024年1月12日に発表した2024年2月期第3四半期決算に対する想定される質問及び投資家の皆様からの問い合わせとその回答の抜粋をまとめたものです。ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っています。

### Q | ここまで仕入が好調に推移しているとのことだが、在庫が増えすぎているか？

3Q累計では、リユース事業の連結の仕入高は前期比29.7%増、売上高は同22.4%増となっており、伸び率では仕入が7ポイントほど先行はしているが、第4四半期もグループ全体で9店の出店（前年同期は4店）を予定しており、新店分も含めた在庫確保という点も踏まえると、問題のない水準と考えている。

### Q | 今後の出店に向けて人材は十分確保できる見込みか？

人員の確保については、2024年4月入社の新卒は前年4月と同水準の約110名を予定しており、中途採用やパート・アルバイトからの社員登用も引き続き積極的に行っていく計画であり、問題なく進行している。また、社員の定着を一層図っていくため、来期においても引き続き給与のベースアップ及び年間休日の増加などの取り組みを進める予定である。

### Q | 今後の出店に向けて店舗物件は十分確保できる見込みか？

当社では、店舗物件は、物販店などの退去後に居抜きで賃貸での出店を行っている。来期は連結ベースで25～30店の出店を計画しており、現時点で10店以上の物件が固まっている。出店地域は、一都三県及び関西、愛知などの中部、福岡などの九州に加えて、直近では群馬県や栃木県、茨城県の北関東への出店を進めている。今後も、すでに進出している地域に加えて、その周辺地域への出店を進めていくこと、またグループで10を超える店舗業態を組み合わせることで多様な立地形態への出店を行うことで、[中期計画](#)に沿った出店を進めていく。